

株式会社ボルテージ
2026年6月期 第1四半期
決算説明会

2025年11月13日

東証スタンダード 証券コード3639



エグゼクティブサマリー

2026年
6月期1Q
決算

売上
5.9億円

営利
△0.59億円

- 売上は、前期比82%
ただし、新分野は伸長し、前期比105%。
- 営利は例年通り、先行投資に伴う赤字でスタート。

2026年
6月期1Q
トピック

- アプリ事業は売上減少だが、通期黒字化に向け、積極プロモーションと経費抑制を推進中。
- 新分野（電子コミックとコンシューマ）は、定常的な発売ペースへ向け、仕込み増。

成長戦略

- アプリ・電コミ・コンシューマの「3本柱」成立を目指す
 1. 日女アプリ × ファンダム充実・アプリ進化（ファンダム戦略）
 2. 新分野× 拡大・IP創出（ヒットIP戦略）

2026年
6月期
業績予想

- 環境激変により、信頼性の高い数値の算定が困難であり、非開示。

1 | 2026年6月期 決算概況

第1四半期 業績サマリー

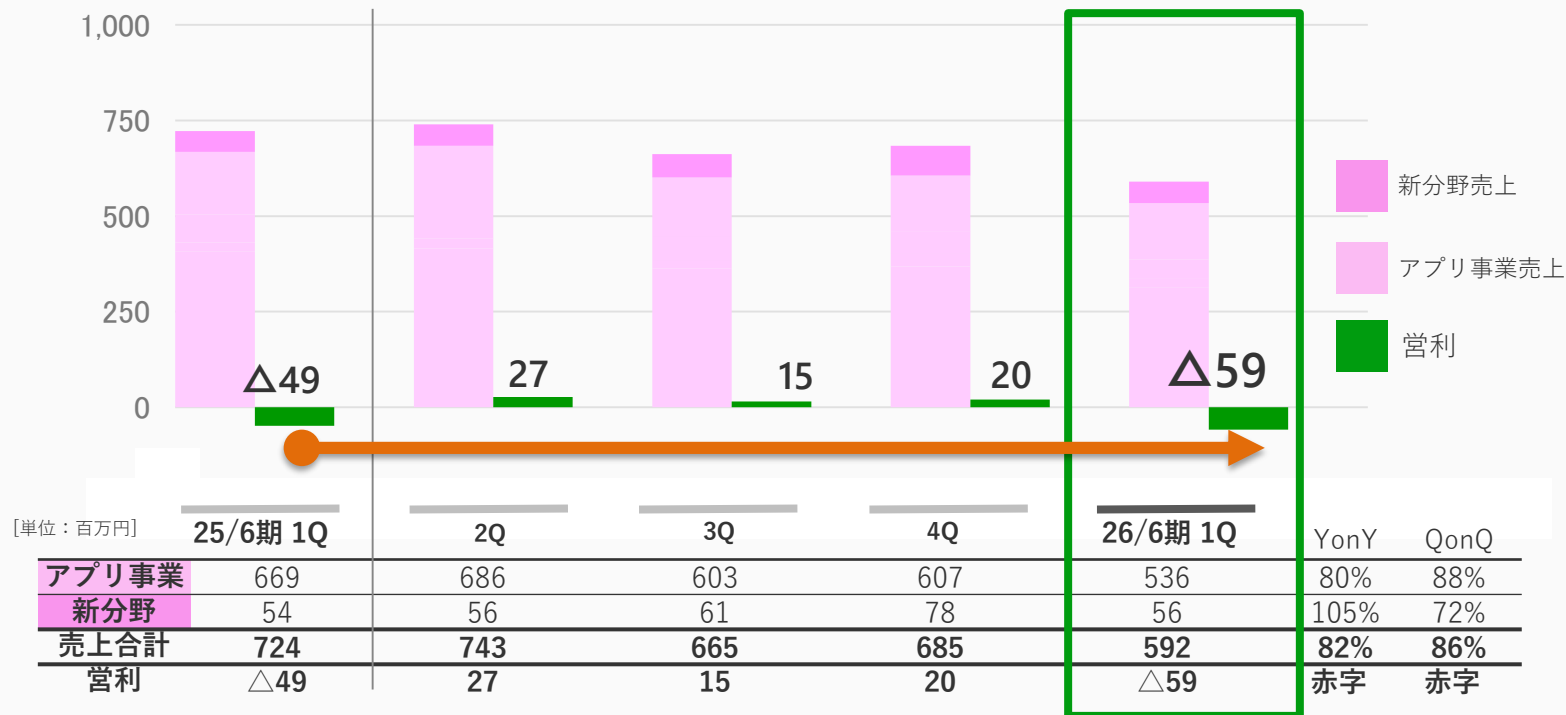
単位： 百万円	2025年6月期				2026年6月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	YonY	QonQ
売上高	724	743	665	685	592	82%	86%
売上原価	363	334	321	323	316	87%	98%
労務費	190	184	178	174	169	89%	97%
外注費	116	100	94	88	100	86%	113%
その他	56	50	48	60	46	82%	76%
販管費	409	381	328	341	335	82%	98%
広告宣伝費	80	77	68	60	61	77%	102%
販売手数料	167	170	129	150	130	78%	87%
その他	162	132	131	130	143	88%	110%
営業利益	△49	27	15	20	△59	赤字	赤字
経常利益	△67	54	8	22	△50	赤字	赤字
親会社株主に帰属する 当期純利益	△68	52	△3	32	△51	赤字	赤字

四半期 業績推移

1Q売上は、前期比82%。営利は例年通り、先行投資に伴う赤字でスタート。

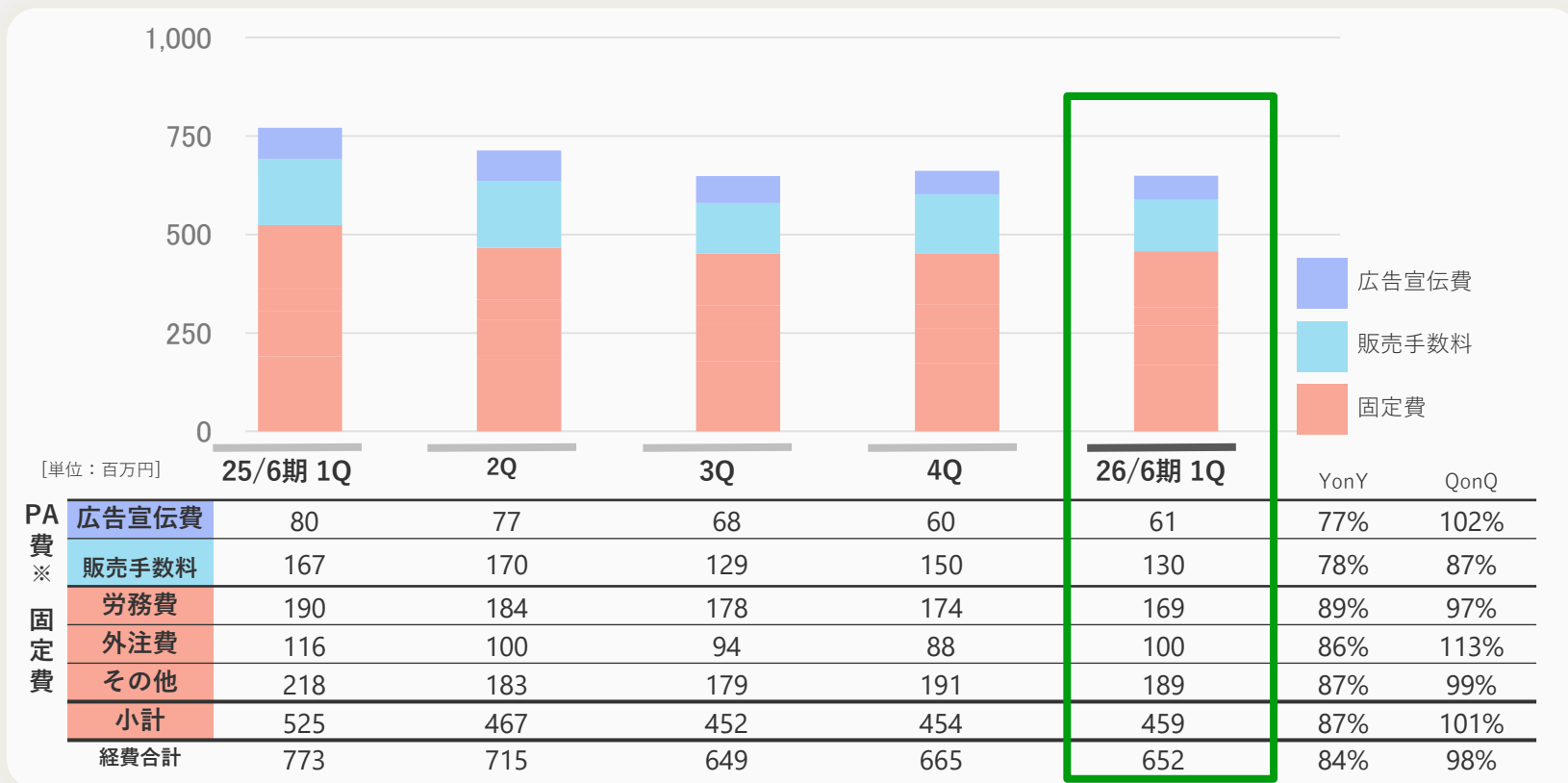
アプリ事業は売上減少だが、通期黒字化に向け、積極プロモーションと経費抑制を推進中。

新分野は伸長し、前期比105%。定常的な発売ペースへ向け、仕込み増。



四半期 経費推移

アプリ運用の効率化を進め、経費の抑制を継続中。先行投資で、外注費が増加。



※Platform & Advertising

貸借対照表

ストックオプションの行使等により、資産が若干増加。投資資金は十分に確保。

	26/6月期1Q末	25/6月期 期末	前期末比
単位：百万円			
流動資産	1,959	2,042	96%
固定資産	862	752	116%
資産	2,821	2,794	101%
流動負債	465	472	98%
固定負債	138	125	111%
負債	603	598	101%
株主資本	2,119	2,128	100%
その他の包括 利益累計額	91	59	152%
新株予約権	7	8	96%
純資産	2,218	2,196	101%
負債純資産	2,821	2,794	101%

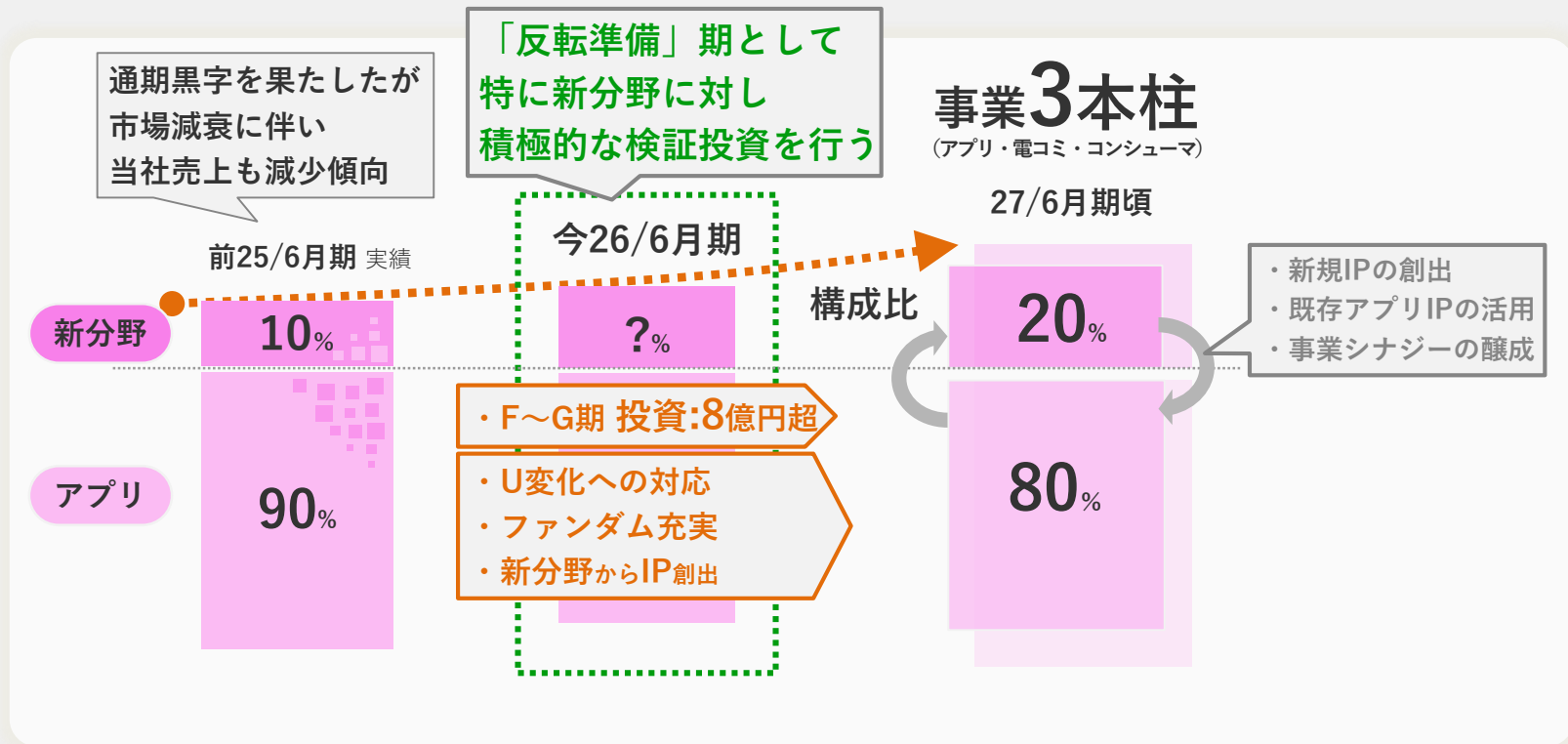
2 | 成長戦略

「恋愛と戦い」 デジタル時代の物語コンテンツで、世界を楽しませる！



事業ポートフォリオの進化

新分野の事業基盤を增強（売上構成20%）することで、
3分野での新規IP創出や既存アプリIP活用など、事業シナジーを促進する

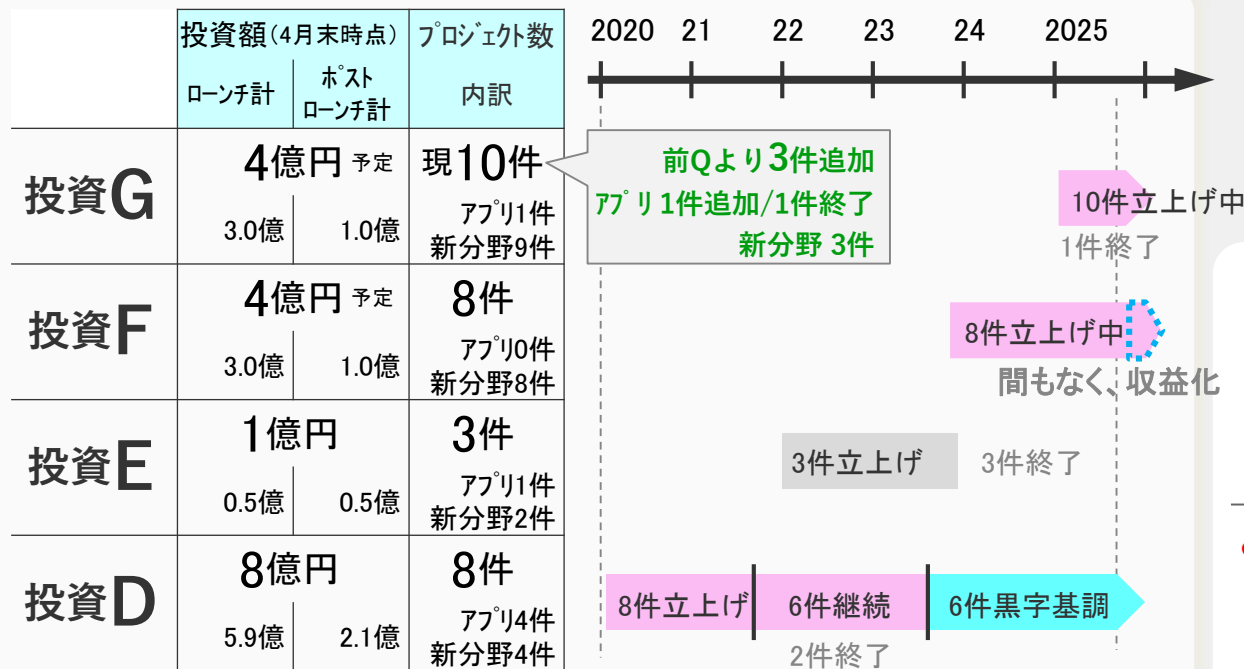


投資サイクルの状況

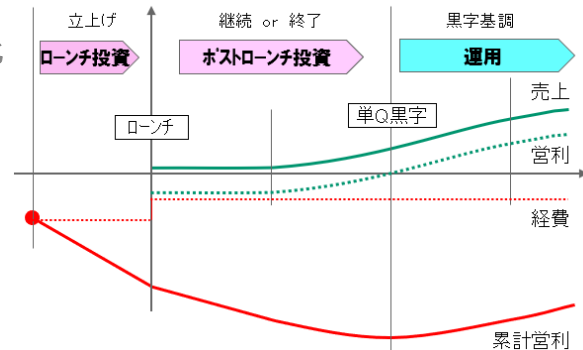
アプリや新分野で新規タイトルへ投資は、以下のような投資サイクル方式で行っています。

現状、投資Dは黒字基調。投資F・Gは15件を立上げ中で、順次継続判断を行い、黒字成長を目指します。

◇投資サイクル：複数プロジェクトに時期をずらして投資することで、全社の黒字運営と事業成長を両立しようとする仕組み。

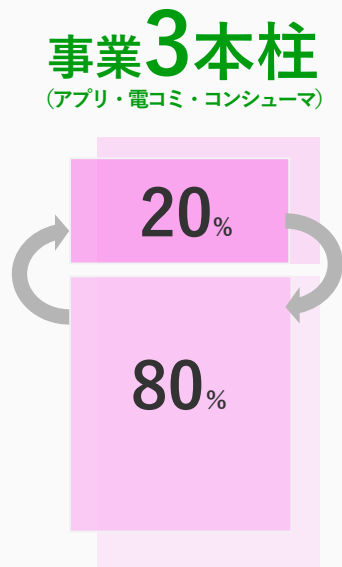


1件の新規タイトル立ち上げ 収支モデル



当面の注力施策

26/6月期を売上の「反転準備」期とし、黒字運営と投資のバランスに注力する。



新分野

ヒット路線^{創出}

ライン複数化・販路開拓

日女

新分野とのシナジー 電子コミック化
コンシューマーゲーム化

販促・ファンダム醸成

お出かけ/拡散 志向に対応

コスト効率化 運営の少人数化

男性

定期イベントの実施

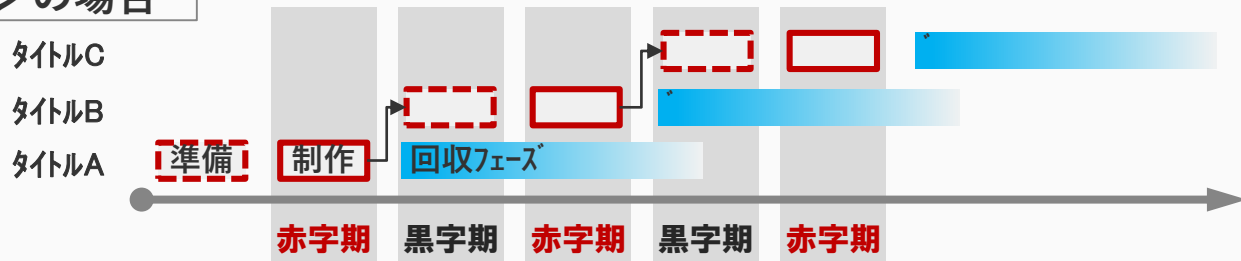
アプリ

新分野 収益安定化に向けて

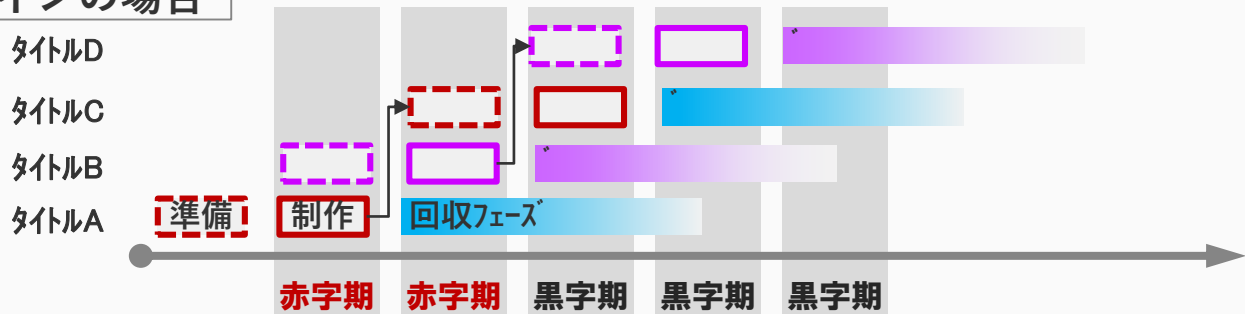
電子コミック・コンシューマ事業は、開発ラインの複数化に努めています。

- ① タイトル単体では、**累積黒字を達成するタイトルが増加**、事業基盤は強くなっている。
- ② 一方、個別の投資回収は、事業年度を跨ぐ**数年にわたる**サイクルとなっている。
- ③ このため、単年では「投資先行（収支マイナス）」となるフェーズが存在する。
- ④ 複数タイトルを並行することで**投資と回収のサイクルを重ね合わせ**、恒常的な黒字化を図る。

1 ラインの場合



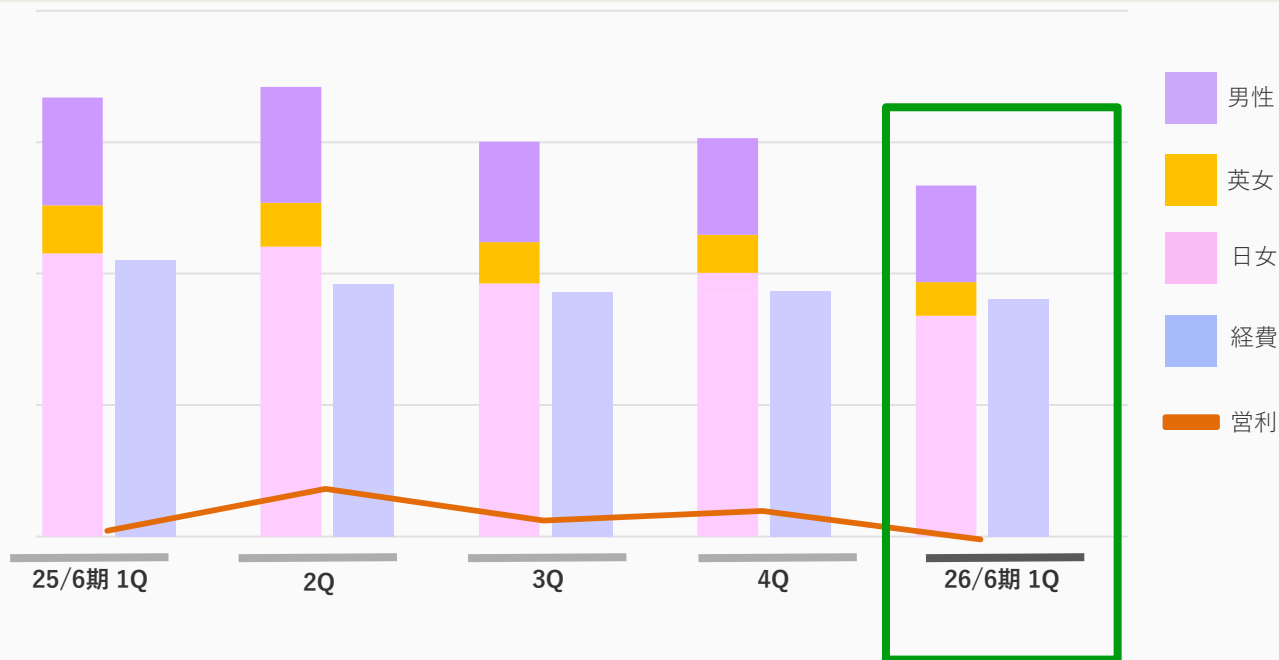
複数ラインの場合



3 | アプリ事業

アプリ事業 収支

アプリ事業は売上減少だが、通期黒字化に向け、積極プロモーションと経費抑制を推進中。



※掲載されたグラフの営利は、管理会計ベースの課金売上で算出

アプリ事業（日本語女性向け）トピックス①

- ・「王子様のプロポーズ Eternal Kiss」は12周年の施策が好調
- ・ ボル恋6タイトルが集合するリアルイベントを神田明神にて開催

【王子様のプロポーズ Eternal Kiss】

- ・ 9月 配信12周年を記念したキャンペーンが好調
新ストーリーの配信も決定



【誓いのキスは突然に Love Ring】

- ・ 10月 長く愛され続ける人気キャラクター「ラスカル」と
コラボレーション企画を開催



【夏恋2025 ～カレと楽しむ夏祭り～】

- ・ 8月 「カレと楽しむ夏祭り」をテーマに神田明神の
神田納涼祭りに出展
参加型の縁日ミニゲームが好評



アプリ事業（日本語女性向け）トピックス②

ボル恋シリーズのアンバサダーにタレントの「河合郁人」氏が就任！



河合郁人さん プロフィール
1987 年 10 月 20 日 生まれ
東京都出身 A 型
STARTO ENTERTAINMENT 所属

2022 年～「サタデーファンキーズ」
（岩手めんこいテレビ 毎週土曜 10:50～）MC
2023 年 YouTube チャンネル
「かわいたちチャンネル～Purple Rain～」と
公式 Instagram を開設

2026年1月より、「ボル恋」シリーズの人気6タイトルにて、河合氏が登場する特別ストーリーイベントや、河合氏が考案したコーディネートを着せ替えアバターとして配信予定
既存ユーザーに新たな楽しみを提供するとともに、SNS等を通じ当社タイトルの認知向上を目指す

アプリ事業（男性）トピックス

- ・「六本木サディスティックナイト」11月の10周年に向けた企画を準備中

【六本木サディスティックナイト】

- ・ 8月 アプリ内イベント「Night Jewel QUEEN」
初の「ペア開催」を実施
通常開催では8名参加のところを8ペア16名に変更
- ・ 7月 リアルイベント
「リアルNight Jewel ～ 新たな宝石たち～」開催
オーディションにて決定した新たなキャストが
出演し、アプリの世界観体験が好評

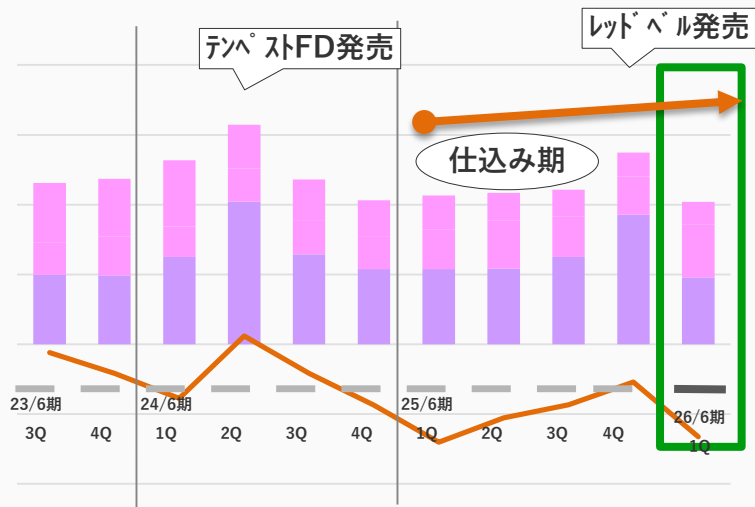


4 | 新分野

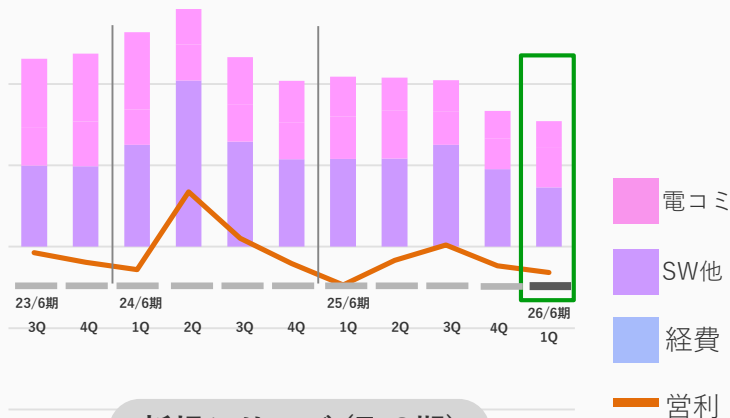
新分野事業 収支

定常的な発売ペース実現のため、ライン複数化へ

新分野

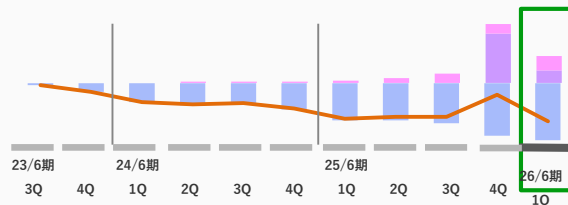


既存シリーズ (D期)



新規シリーズ (F・G期)

新作開発を増強、徐々に販売開始



※掲載されたグラフの売上・営利は、管理会計ベースの課金売上上で算出

新分野 拡大イメージ

新分野は、F～G期で8億円投資。下の制作を推進中。

投資予定：400百万円

電コミ
レーベル

モノクロ漫画

カラータテヨミ
(webtoon)

26/6月期 予定

新規・連載+着手 予定

30 + 10本

※ライセンスアウト作品を含む

4 + 2本

27/6月期 予定

新規・連載+着手 予定

40 + 20本

※ライセンスアウト作品を含む

6 + 4本

投資予定：400百万円

Switch

アプリタイトル
移植

オリジナル

発売+着手 予定

6 + 4本

2 + 4本

発売+着手 予定

4 + 4本

4 + 4本

2025年10月時点

電子コミック事業トピックス

- ・ 電子コミックストア「ぼるコミ」オープン5周年。配信作品数増加中
- ・ 縦読みカラーコミックレーベル「ボル恋TOON」作品の配信ストアを拡大

【電子コミックストア「ぼるコミ」】

- ・ 8月 オープン5周年を記念した「ありがとうキャンペーン」実施

	23年6月	24年6月	25年6月	前年比
お取り扱い 出版社様	108社	150社	192社	+28%
お取り扱い 作品冊数	41万冊	55万冊	85万冊	+54%



【縦読みカラーコミックレーベル「ボル恋TOON」オリジナル作品】

- ・ 8月 「このキスは演技じゃないから」
LINEマンガ先行配信に続き、めっちゃコミ・Renta等、
24ストアへ配信拡大



【女性向けレーベル「ボル恋comic」】

- ・ 7月 「大門常務に新婚生活(仮)で溺愛されてます」
ピッコマ先行にて配信開始。レーベル全42作品に。



コンシューマ事業トピックス①

- ・「レッドベルの慟哭」の中国語繁体字の2026年発売が決定
- ・アプリ移植タイトルが2作品発売

【AmuLit・レッドベルの慟哭】

- ・ 8月 中国語繁体字版「紅鈴的慟哭」の発売が決定
2026年発売予定



【ボル恋移植タイトル】

- ・ 9月 「魔界王子と魅惑のナイトメア」のNintendo Switch版
「魔界王子と魅惑のナイトメア～誘惑の口づけ～」
(日本語・英語版)が発売



【Lovestruck (北米向け) 移植タイトル】

- ・ 9月 「Gangsters in Love」(英語版)をNintendo Switchと
Steamにて発売開始



コンシューマ事業トピックス②

コンシューマ向けブランド「AmuLit」

新作タイトル『ネオンクラッシュ -Echoes of the Lost-』12月に発売予定



コンシューマ事業トピックス③

AGF2025（アニメイトガールズフェスティバル）にて「AmuLit」新作タイトル発表
『sins of KALEIDO 塔巡りし因果の魔女』



ヒット作「even if TEMPEST」シリーズに連なる「魔女シリーズ」の最新作。2026年発売予定

用語説明

用語	意味
日女・英女・亜女	日女とは、「日本語(を主に使用する)女性向け」。 英女とは、「英語圏の女性向け」。亜女とは、「アジア圏の女性向け」。
読み物型	ストーリーを楽しむことがメインとなるタイプのアプリ。
アバター型	ストーリーをメインに、アバターなどのゲーム性を組み合わせたタイプのアプリ。
カード型	カードの収集・育成要素を持つタイプのアプリ。 「夢女カード型」は「夢女子(二次元キャラクターを好む女性)向けのカード型」アプリ。 「男カード型」は「男性向けのカード型」アプリ。
ファンダム	作品へのポジティブな深い感情的なつながりから生まれたファン文化。 当社グループのタイトルを消費するだけでなく、共感・応援するファン集団を指す。 また、上記を醸成するためのアプリ外施策も指す。
ボル恋	当社が提供する恋愛ドラマシリーズの総称。アプリを中心に、Webコンテンツや家庭用ゲーム向けも含む。
IP	Intellectual Property （知的財産）。当社オリジナルのタイトル1つ1つを指す。
Webtoon	スマートデバイスでの閲覧に適した、縦読みカラーコミック。
移植 ・オリジナル	「移植」とは、ボルテージの既存アプリを、「Nintendo Switch」「Steam」などのコンシューマゲームに移植したもの。対して「オリジナル」とは、コンシューマゲーム用にゼロから制作したもの。
イベント・ライツ 展開	当社のタイトルIPを用いたアプリ外での展開。主に、舞台・コラボカフェなどのリアルイベントの実施や、グッズ販売、映画化・CD販売などの映像・音楽展開に分類される。
ボルSHOP	ボルテージが提供するアプリのキャラクターグッズがいつでも購入できる公式オンラインショップ。

APPENDIX | 会社紹介

会社概要

社名

株式会社ボルテージ

代表者

代表取締役社長 津谷祐司

企業理念
ビジョン

「アート & ビジネス」で世界に貢献する
「恋愛と戦いのドラマ」で、人々の「生活を盛り上げる」
「自発と責任」で、自律し成長する個人・組織になる

設立

1999年 9 月

上場日

東証スタンダード：2022年 4 月
(東証一部：2011年 6 月、東証マザーズ：2010年 6 月)

資本金

1,251百万円 (2025年6月末時点)

従業員数

143名※ (2025年6月末時点)

※臨時雇用者（契約社員、アルバイト、派遣社員）を含まない

沿革・事業内容

市場変化に合わせ、客層・技術を拡張してきた。

2019 「電子書籍事業」「コンシューマ展開」
「アジア女性向け」「ブラウザ向け」開始

当社の強みを活かし、多角展開を目指す。

2022 東証スタンダードへ市場変更

2019 創業20周年

2017 「イベント・ライツ展開」本格化

アプリとリアルの相乗効果を狙う。

2018 「恋アプ」100タイトル達成

2013 「男性向け」開始

2012 米国子会社「SFスタジオ」設立

2011 「英女向け」開始

コンテンツのターゲットを拡大し、
さらなる収益拡大に成功。

2011 東証一部へ市場変更

2010 東証マザーズ上場

2006 「日女向け」開始

「日本語女性」にターゲットを絞り、
現「ボル恋」シリーズを開始。
大ヒットを記録し急成長。

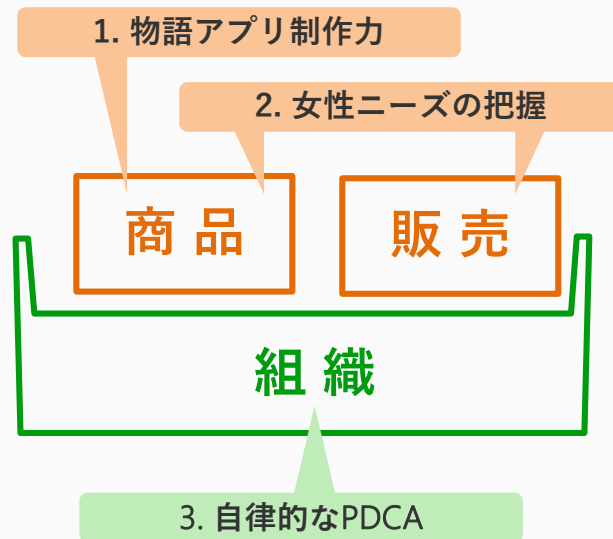
1999 創業

事業区分と強み

■ 事業区分

区分		分類	主要タイトル
物語アプリ	日女	読み物型	100恋+
		アバター型	恋乱、誓い、シンデ、ミラプリ王子、魔界、幕天、2LDK
		カード型	あや恋、アニドル
		ファンダム	ボルSHOP (グッズ) ボルフェス、コラボカフェ 2.5次元舞台、ファンミーティング 動画配信
	英・亜女	読み物型	Love365 中国・台湾向け
	男性	カード型	六本木
新分野	電子コミック・コンシューマ	電コミストア	ぼるコミ
		電コミレーベル	(モノクロコミック) ボル恋comic (タテヨミカラー漫画) ボル恋TOON
		Nintendo Switch™/ Steam®向け	ボル恋移植タイトル テンペスト魔女 レッドベル

■ ボルテージの強み



物語アプリ × グローバル/ファンダム

※「Switch」向けタイトルは含まない

■グローバル展開

	日本	英語	中国	香港 台湾	東南 アジア	欧州
100恋+	○	○ Love3	—	—	—	○ Love3
ダウト	○	○ Liar!	○ 掲穿	○ Doubt	—	—
恋乱	○	○ Samurai	—	—	—	—
魔界	○	○ Darkness	—	—	—	—
あや恋	○	○ Ayakashi	—	—	タイ ○ Ayakashi	—
アニドル	○	—	—	—	—	—

■ファンダム展開

ユーザ交流 (オンライン代・併)	舞台 (オンライン代・併)	動画
○ Shop・フェス	○ 朗読劇	○ ニコニコ動画
—	—	—
○ Shop・フェス	—	○ YouTube
○ Shop・フェス	—	○ YouTube
○ Shop・フェス	○ 2.5次元舞台	○ YouTube
○ Shop・フェス	○ ライブ	○ TV・YouTube

ESG、SDGsへの取り組み①

ボルテージは、持続可能な経営の実現に向け、
ESGを重視し、SDGsに積極的に取り組んでまいります。

■ 当社の取り組み

【環境（Environment）】

- ・ ペーパーレス化
- ・ 紙類のリサイクル
- ・ 清掃ボランティア

【社会（Social）】

- ・ 学生訪問受け入れ
- ・ 多様な働き方支援と女性管理職の活躍

【ガバナンス（Governance）】

- ・ コンプライアンス/リスク管理体制の構築・維持
- ・ 各種 通達・報告窓口の設置
- ・ 株主様との関係性構築（IR担当、お問合せ窓口設置）

■ 該当するSDGsの目標



ESG、SDGsへの取り組み②

「多様な働き方支援」「女性が活躍できる組織づくり」に注力しています。

■ 多様な働き方

【「テレワーク東京ルール」実践企業に認定（2022/2）】



テレワーク推進や業務効率化によるDX推進などのルール策定により、東京都が提唱する「テレワーク東京ルール」実践企業に認定。

【「心のバリアフリー」サポート企業に登録（2022/4）】



子育て世代の従業員のバックアップ制度や、海外向けの翻訳コンテンツなどが評価され、東京都の「心のバリアフリー」サポート企業に登録。

【その他の取り組み】

- ・勤務時間区分の自主選択
- ・リフレッシュ休暇制度
- ・フレックスタイム

【詳細は当社ホームページ】

<https://www.voltage.co.jp/recruit/welfare/>

■ 女性が活躍できる組織作り

【女性管理職比率】

全国平均10.9%に対し57%※

	2022年度	2023年度	2024年度
女性	13人	17人	13人
全体	24人	28人	23人
比率 (女性/ 全体)	54%	61%	57%

※2024年8月23日 株式会社帝国データバンク
「女性登用に対する企業の意識調査」より

【詳細は当社ホームページ】

<https://www.voltage.co.jp/recruit/woman/>

株式会社ボルテージ



- ・本資料には将来の予測に関する記述が含まれておりますが、それらの記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化等により、実際の業績とは異なる可能性がありますことを御承知おき願います。
- ・本資料の作成に当たっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。
- ・本資料で記載されている会社名・商品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。